

## 2014年度 國學院大學法科大学院

### 《Ⅱ期法律科目試験》

# 刑 事 訴 訟 法

#### ● 注 意 事 項

- 1 試験時間は、10時45分から11時30分までです。
- 2 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 解答用紙への記入は、黒もしくは青インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。これ以外のものを使用した場合は、無効となります。
- 4 訂正をする場合は、明確に線で消してください。修正液等は、使用しないでください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
  - ① 受験番号
  - ② 氏名
- 7 問題の内容に関わる質問については、お答えできません。
- 8 「六法」は、貸与する『ポケット六法』以外使用できません。また、毎試験終了後、『ポケット六法』は回収します。
- 9 解答中に解答用紙を毀損した場合、手を挙げて監督者に知らせてください。監督者の確認後、新しい解答用紙と交換します。
- 10 携帯電話等は、時計としての利用も認められていません。必ず電源を切り、鞆などの中にしまっ、身につけないでください。
- 11 試験開始後、終了まで原則として退室は認めません。
- 12 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。いかなる理由でも解答用紙は、持ち帰ることはできません。
- 13 体調が悪い場合は、手を挙げて必ず監督者に伝えてください。

問 警察官Aらは、住宅街路上で発生した強盗事件について捜査を進めていたところ、事件のあった時間帯に、犯人と思われる人物の姿が、事件現場に近接した場所に設置された防犯ビデオカメラに写っていることを確認した。Aらは、さらに捜査を進めたところ、被害者の供述などから、被疑者甲が本件強盗事件に関与した疑いが濃厚であると判断するにいたった。そこで、Aらは、甲が、防犯ビデオカメラに写っていた人物と同一であることを確かめるために、甲の住むアパート前路上から甲の住むアパートを監視し、所携のビデオカメラで、甲がアパート1階の自宅玄関から公道に出るまでの様子を甲の容ぼうを中心にアップで撮影し、さらに、甲が公道を歩く姿をその歩き方を中心に3分程度継続して撮影した。甲は撮影されていることにまったく気付いていなかった。

警察官Aらの上記撮影行為は適法か論じなさい。